



第 4 回「JATA SDGs アワード」受賞者発表 大賞は 沖縄ツーリスト株式会社

『日本ユネスコ協会連盟『沖縄体験旅行』:様々な困難状況に置かれた
日本各地の子どもたち 50 名以上に体験支援を提供』

一般社団法人日本旅行業協会（本部：東京都千代田区 会長：原 優二 以下、JATA）は、下記のとおり第 4 回「JATA SDGs アワード」の各賞を決定いたしました。

大賞は、沖縄ツーリスト株式会社の『「日本ユネスコ協会連盟『沖縄体験旅行』：様々な困難状況に置かれた日本各地の子どもたち 50 名以上に体験支援を提供』に決定しました。

総応募件数は去年（57 件/25 社）から 58 件/21 社へと推移し、取組は着実に促進されています。今年度は 6 月 22 日（月）に最終審査会を開催、厳正な審査の結果、大賞を含む 22 件を表彰します。各受賞については 3. 審査結果をご参照ください。

尚、表彰式は 7 月 9 日（木）に実施予定です。

記

1. 表彰の目的

- (1) 会員会社が実施している持続可能な開発目標（以下、SDGs）達成に向けた優れた取組みを表彰することで、旅行業界における取組みを推進する。
- (2) SDGs の概念を理解しているものの、「どのように取組むべきか」、また「何から始めるべきか」といった声に対して、会員会社の事例を広く周知・共有することで、各会員会社における主体的な取組みを後押しする。
- (3) 各会員会社が実践事例に触れることで、将来のあるべき社会や自社の姿を自発的に考える機会とすることで、各社のイノベーションの創出を促進する。

2. 応募件数：58 件（21 社）

(1) 経営部門：11 件

持続可能な観光に向けた戦略的計画、負荷軽減、住民・旅行者との協働等に関する内容

（主に SDGs の目標 8. 9. 11. 12. 13. 14. 15. 17 に関する内容）



(2) 社会経済部門：24 件

公正な雇用・取引、地域・コミュニティ支援、人権尊重、多様性等に関する内容

（主に SDGs の目標 1. 2. 3. 4. 5. 8. 10. 11. 16 に関する内容）



(3) 文化部門：9件

文化遺産の保護、地域芸能の持続的な活用・
観光資源としての振興等に関する内容
(主にSDGsの目標4.9.11.12.16に関する内容)



(4) 環境部門：14件

自然遺産の保護、気候変動対策、環境負荷低減
等に関する内容
(主にSDGsの目標6.7.11.12.13.14.15
に関する内容)



3. 審査結果

(1) 大賞

沖縄ツーリスト株式会社

『「日本ユネスコ協会連盟『沖縄体験旅行』：様々な困難状況に置かれた日本各地の子どもたち
50名以上に体験支援を提供』

(2) 経営部門

優秀賞	株式会社 JTB	MY LIV PROJECT ～私と私たちの Well-being に出逢う旅～
特別賞	沖縄ツーリスト株式会社	実践的観光教育：ひとり親家族 100名ジャングリア沖縄ご招待
	株式会社 JTB	「サステナブル取引方針および社外ステークホルダーホットラインによる観光サプライチェーンにおけるサステナビリティ・人権マネジメントの高度化 — 予防+救済の仕組み構築 — 」
奨励賞 (3件)	株式会社 JTB ビジネス トラベルソリューションズ	ESG 観点の出張管理サービス「ESG-BTM」の提供による企業の持続可能な経営支援
	株式会社 JTB	サステナブルツーリズム特集 リニューアルプロジェクト ～興味・関心からアクションに繋がる！“自分ごと化”できるサイトの構築～

(3) 社会経済部門

優秀賞	株式会社エイチ・アイ・エス	旅行者の手でリユース車いすを世界へ！『空飛ぶ車いす』が紡ぐサステナブルな旅 ～モノの再生から始まる、旅を社会課題解決の力に変える体験型ツアー～
特別賞	株式会社 JTB	地域未来にぎわい工房 —遊休資産から始まる、関係人口と経済循環の共創モデル —
	クラブツーリズム株式会社	奄美の離島経済を「プロ副業人材」で活性化！新たな地域貢献型関係人口づくり「第2のふるさと副業発見ツアー」
奨励賞 (3件)	クラブツーリズム株式会社	時代は「モノ・コト」から「ヒト」へ！ 地元の人とつながることから始まる特別な旅 旅人と地域のマッチングサービス「旅は人まかせ」
	株式会社 JTB グローバル マーケティング & トラベル	新潟県新発田市の「米オーナー制度」を活用した新たな交流の創出

(4) 文化部門

優秀賞	株式会社読売旅行	訪日外国人向け金継ぎ体験販売の拡大～ものを大切にする心を世界に
特別賞	株式会社 JTB	歴史ある京都音楽博覧会で「文化のサステナビリティ」に関する取り組みを初実施！
奨励賞 (2件)	KNT-CT ホールディングス株式会社	JAPAN 道ウェルネス～日本の「道」体験を現代的ウェルネスとして習慣化～
	株式会社 JTB	交流創造キャンパス

(5) 環境部門

優秀賞	株式会社 JTB T-LIFE ホールディングス株式会社 東武トップツアーズ株式会社 株式会社日本旅行 名鉄観光サービス株式会社 (社名 50 音順)	CO ₂ 可視化で行動が変わる脱炭素修学旅行モデル
	株式会社エイチ・アイ・エス	ハワイの海と未来を繋ぐ、走るエコ・アクション！「第 10 回 LeaLea Charity Run 5K」を通じたツーリズムと地域環境保全の融合
奨励賞 (5件)	株式会社阪急交通社	～世界文化遺産富士山の環境を未来に継承するために～ 自然環境保全活動、富士山ぐるっと一周、頂上まで
	株式会社日本旅行	新潟 新発田でサステナブルな農業を学ぶ旅～Green Journey for School～
	株式会社ジャルパック	奄美大島 宇検村 マングローブ植林・自然文化体験ツアー
	株式会社 JTB	ギフトで広げる SDGs ～企業活動に組み込む脱炭素と共創の循環モデル～
	沖縄 JTB 株式会社	沖縄観光周遊における環境負荷低減を実現する、持続可能な二次交通事業

■概要

- 対象 象：JATA 正会員による SDGs 達成に向けた優れた取り組み
- 対象期間：2025 年 4 月～2026 年 3 月に実施した活動及び事業、または、近年継続して実施した活動及び事業にあって、上記期間内に効果が見られたもの
- 表彰内容
大 賞：最も優れた活動及び事業等であり、模範となる内容（全体で 1 件）
優秀賞：優れた活動及び事業等であり、他社に奨励できる内容（部門毎で 1 件）
特別賞：取り組みに創意工夫が見られ、今後の発展性が期待される内容（部門毎で 1 件）
奨励賞：SDGs 達成に資する取り組みであり、事例として他社の参考になる内容（部門毎で件数制限なし）

【表彰部門】

- ①経営部門
- ②社会経済部門
- ③文化部門
- ④環境部門

4. 最終審査方法

以下①～⑧の審査項目について、それぞれの観点から応募内容の評価を行う。

- ① 貢献度 目標達成へ寄与する活動・事業か
- ② 持続性 無理のない活動・事業であり、今後も継続できるか
- ③ 汎用性 他社でも取組める活動・事業か
- ④ 創造性 新しい価値創造につながる活動・事業か
- ⑤ 包摂度 「誰一人取り残さない」の理念に則った取組みか
- ⑥ 参画度 主体的に取り組んでいる活動・事業か
- ⑦ 透明性 取組の状況や成果を対外的に公表しているか
- ⑧ 共創度 多様な立場のステークホルダーと協働する活動・事業か

5. 最終審査委員(※役職は審査会当時)

委員長：JATA 社会貢献委員会 委員長 美甘 小竹(株式会社フィンコーポレーション・代表取締役社長)
委員：JATA 旅行業経営委員会 委員長 東 良和(沖縄ツアーリスト株式会社・代表取締役会長)
JATA 社会貢献委員会 副委員長 矢田 素史(株式会社イチ・アイ・エス・代表取締役会長)
グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会(GSTC) Japan Director 権 秀賢 氏
一般社団法人日本サステナブルツーリズムイニシアティブ 常務理事・事務局長 亀山 秀一 氏
国土交通省 観光庁 参事官 根来 恭子 氏
一般社団法人日本旅行業協会 理事長 蝦名 邦晴

6. 表彰式：2026年7月9日(木)開催

以 上

お問い合わせ先	<SDGs アワードについて> 一般社団法人日本旅行業協会 総務部 TEL：03-3592-1271 <報道関係者様> 広報部 TEL：03-3592-1244 e-mail：press@jata-net.or.jp
---------	--